

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所プリエ十文字				公表日	令和8年 2月 2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	4	法令を遵守したスペースを確保しておりますが、活動内容によっては、館内の広いスペースや戸外で活動を実施しております。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉主事、保育士などそれぞれ専門性を備えたスタッフを配置しています。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		玄関やトイレ等、バリアフリー化の配慮をしております。また、写真やイラスト、色分け等を活用し、落ち着いて生活や活動に取り組めるように配慮しております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		活動室は安全面で清潔に心がけ、快適に過ごせるように工夫しています。また、活動内容に応じて活動室を変えるように工夫しております。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個別指導やクールダウンが必要な場合は、別室や活動室以外の場所を活用しながら、工夫しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10			職種によっては、振り返りに参加できない場合もある為、申し送りノートや計画案等を情報共有するようにしております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		評価表の集計結果をスタッフで共有し、業務改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		スタッフ全員に自己評価を実施して、意見等の把握に努め、業務の改善ができるように努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8		第三者評価を実施していないが、法人内監査を実施しており、結果を検討し業務改善に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		職員の資質向上のため、外部研修と事業所内の研修等に参加している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		発達や障害を考慮しながら職員で検討し、支援プログラムをホームページにて公表している。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		定期的にモニタリングを行い、支援の振り返りや発達状況・課題について保護者様と情報共有しております。その上で次回の目標や課題を個別支援計画に反映させてい		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		定期的にカンファレンスを開催し、保育士、理学療法士、作業療法士、看護師がそれぞれの観点から発達評価を行い、次の支援計画に反映している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		支援開始前に個々の目標や支援内容を確認するようにしている。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		ポーテージプログラムを活用し、発達の評価を行っている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		児童発達支援ガイドラインに沿った支援内容を作成し、保護者と具体的な目標定め設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10				

供 給	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		固定化しないように毎月様々な活動を提供している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		子どもの障がいの特性に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて支援している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		支援前に職員間で必ず打合せを行い、支援内容を確認している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		終了後に振り返りを行い、申し送り簿等を活用ながら、情報共有を行っています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		半年ごとにモニタリングと支援計画の見直しを行っています。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		管理者兼児童発達支援管理責任者が参画しております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			医療、障がい福祉関係との連携はとれているが、その他情報共有が不十分なケースもあるため、改善に努めている。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			支援内容について情報を共有している場合もあるが、不十分なケースもあるため、相談支援員と連携しながら改善に努めている。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1		必要に応じて、学校と情報を共有している。不十分なケースもあるため、改善が必要である。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	2	必要に応じて、支援方法や状況等を知らせたり、アドバイスをもらったりしている。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	10		今後、検討していきたい。
運 営 方 法	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3	ペアレントトレーニングの研修等は行っていないが、通信等でペアレントトレーニングについて情報提供を行っている。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		運営規定、支援プログラム、利用者負担については、契約時に丁寧に説明しています。	
評 価 方 法	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		家族とモニタリングを行い、意向を確認し支援計画に反映している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		支援内容について説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		随時、助言相談等を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	2		保護者会を開催したが、参加者が少なかったため、今後は交流の場を提供できるように、内容や開催時期について、検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		定期的に通信やHPにて活動内容やその他の情報を見ている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		個人情報のあるファイルは鍵付きの書庫に保管しています。PC端末はパスワード設定する等の管理を行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		絵カードや写真、ホワイトボード等を活用し、視覚的な配慮を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1		法人の行事等に地域住民を招待したりし、地域交流を図っている。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			各マニュアルを策定し、訓練を実施しているが、家族への周知が十分でない為、今後検討が必要だ。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		委員会を設置し、定期的に備蓄の確認や避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		契約時に医療的ケアについて情報を確認し、職員間で情報を共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		医師からの指示書に従い、対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		安全計画を作成し、研修や訓練を実施している。また、毎月安全チェックを実施し、危険な箇所については、改善を図っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		通信等で安全計画に基づく内容を周知している。今後も連携強化を図っていきたい。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策を検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		毎月、虐待防止のための委員会を開催している。また、毎年研修会を実施し、虐待防止に務めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10			現在、やむを得ず身体拘束を行っている方はいないが、今後十分に検討しながら決定していきたい。